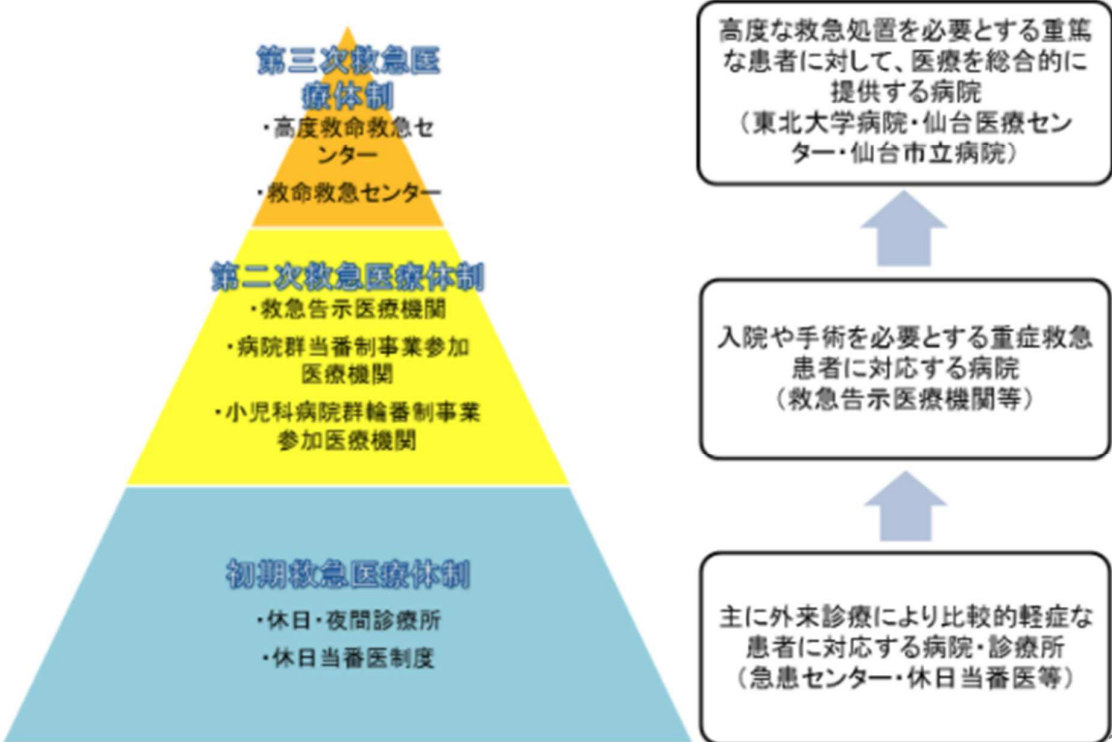


救急医療に関する問題点

仙台市立病院 救急科
山内 聡

仙台市の救急医療体制

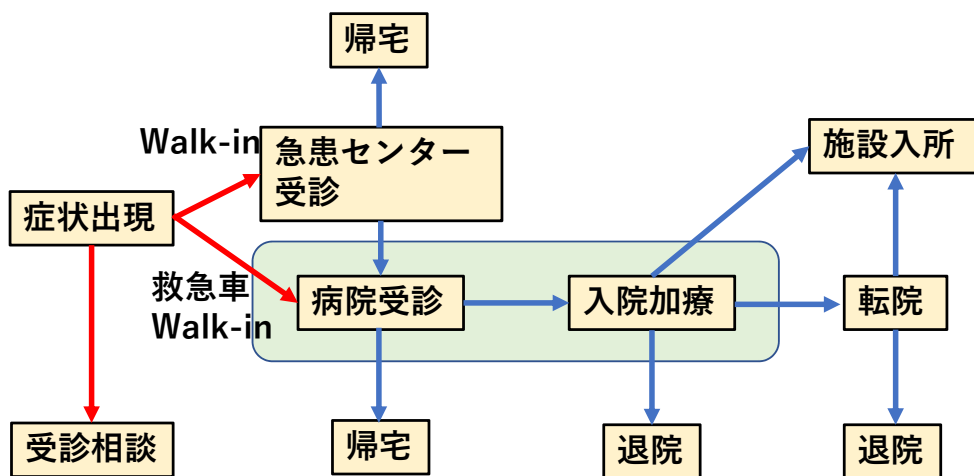


医療機関名・所在地	診療科	受付時間			電話
		平日	土曜	日曜・祝休日	
◆急患センター (若林区舟丁64-12)	内科	19:15～翌7:00	14:45～翌7:00	9:45～12:00、 13:15～17:00、 18:00～翌7:00	☎266・6561
	外科	19:15～23:00	14:45～23:00	9:45～12:00、 13:15～17:00、 18:00～23:00	
	整形外科・ 婦人科・眼科・ 耳鼻咽喉科	—	—	9:45～12:00、 13:15～17:00	
◆北部急患診療所 (青葉区堤町1-1-2 (エムズ北仙台2F))	内科・外科	19:15～23:00	14:45～23:00	9:45～12:00、 13:15～17:00、 18:00～23:00	☎301・6611
	小児科 (内科系 疾患のみ)	(金) のみ 19:15～ 23:00	18:00～23:00		
夜間休日子ども急病診療所 (太白区あすと長町1-1-1 (市立病院併設))	小児科 (内科系 疾患のみ)	19:15～翌7:00	14:45～翌7:00	9:45～12:00、 13:15～17:00、 18:00～翌7:00	☎247・7035
◆仙台オープン病院 (宮城野区鶴ヶ谷5-22-1)	内科	—	8:30～22:00	8:30～22:00	☎252・0100
仙台歯科医師会 在宅訪問・障害者・休日夜間歯科診療所 (青葉区五橋2-12-2 (福祉プラザ12F))	歯科	—	19:00～22:30	10:00～11:30、 13:00～15:30、 19:00～22:30	☎261・7345

夜間・休日等に入院治療を要する患者さんのための当番病院 ※救急車による救急搬送患者を優先するため、お待ちいただく場合があります	診療日	診療科	医療機関名・所在地	電話
	診療時間 平日 18:00～翌8:00 土・日曜日、祝休日 8:00～翌8:00	毎日	内科・外科	◆仙台オープン病院 (宮城野区鶴ヶ谷5-22-1)
内科・外科系			◆仙台徳洲会病院 (泉区高玉町9-8)	☎771・5111
内科・外科系			◆東北労災病院 (青葉区台原4-3-21)	☎275・1111
内科・外科系			◆東北医科薬科大学病院 (宮城野区福室1-12-1)	☎259・1221
9/12月・26月		整形外科	東北公済病院 (青葉区国分町2-3-11)	☎227・2211
火曜日		外科・整形外科	仙台赤十字病院 (太白区八木山本町2-43-3)	☎243・1111
水曜日		外科・整形外科	伊藤病院 (青葉区二日町8-8)	☎222・8688
木曜日		外科系	ジェイコー JCHO仙台病院 (泉区紫山2-1-1)	☎378・9111
金・土・日曜日	外科・整形外科	中嶋病院 (宮城野区大槻15-27)	☎291・5191	

3

救急医療の流れ (時間外)



#7119 (大人)
#8000 (子ども)
医療機関

日本の救急医療の問題点

- 高齢化による救急件数の増加
- 不適切な救急受診
 - ✓ 救急車の不適切利用（タクシー代わり）
 - ✓ 安易な時間外受診
- 救急専門医、ゼネラリスト不足
 - ✓ 自分の専門以外は診ない
- 精神科救急を診てくれる医療機関が少ない
- 働き方改革、時間外労働の制限

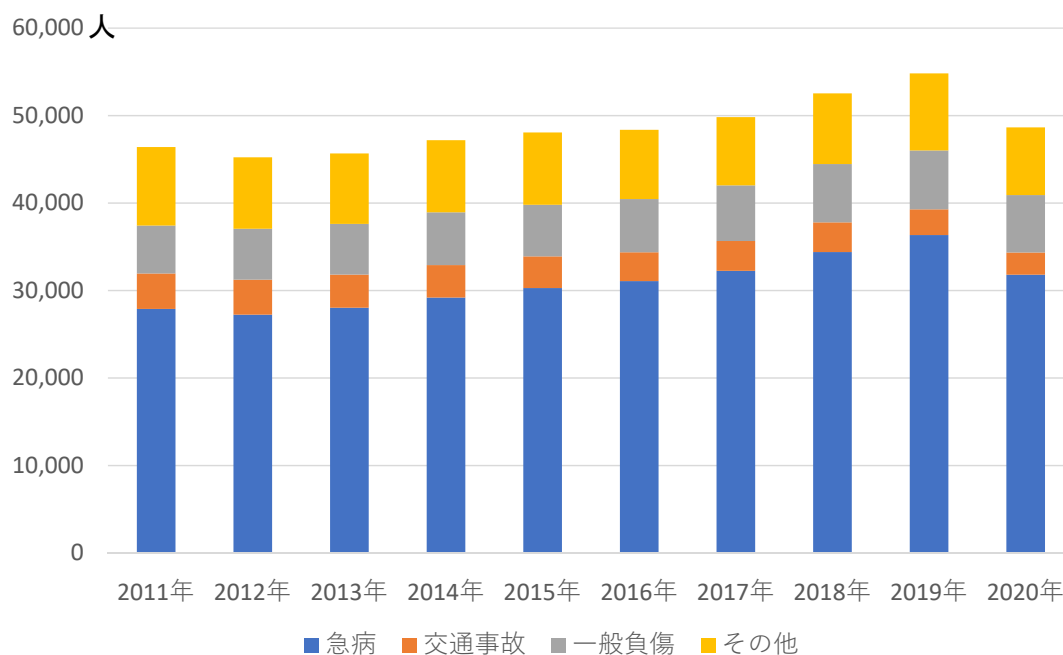
5

受診まで

- どこを受診したら良いか分からない
 - #8000, #7119の認知度の低さ
 - 病院に問い合わせをするため、看護師の手が電話対応にとらえている
- 対応策
 - #8000, #7119の広報
 - #8000, #7119を24時間営業、AI化
 - オンライン診療の活用
 - 病院で救急救命士を雇用し、タスクシフト

6

仙台消防；搬送患者の年次推移



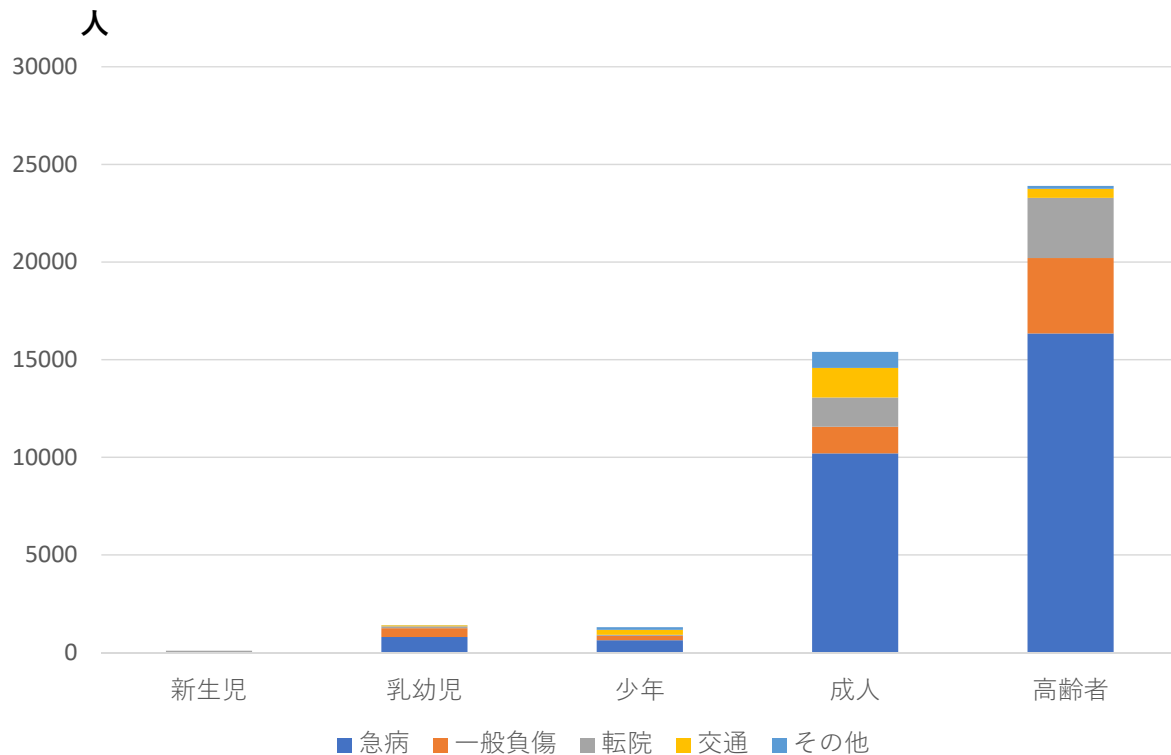
7

仙台消防；搬送患者の内訳

	人数 (人)	割合
急病	27,972	66.5%
一般負傷	5,892	14.0%
転院搬送	4,818	11.4%
交通事故	2,281	5.4%
自損行為	422	1.0%
労災事故	343	0.8%
その他	320	0.8%
火災	26	0.1%

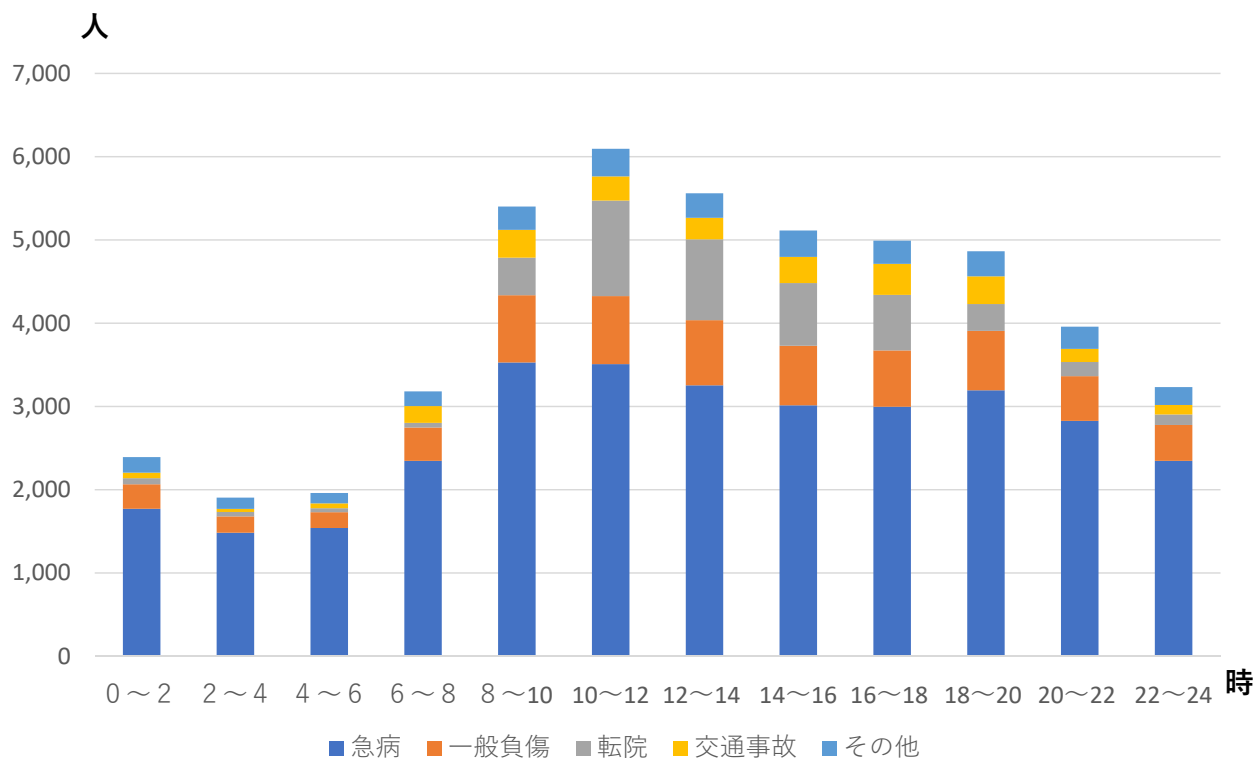
8
2020年

仙台消防；年齢区分別患者数



9

仙台消防；時間帯別患者数



10

時間外に救急を受けることの難しさ

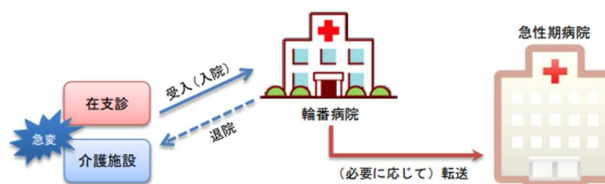
- ・ 何科の疾患か分からない
- ・ 専門医がない
- ・ 検査ができない
- ・ 患者背景が分からない
- ・ 一人暮らし／家族がない
- ・ 帰宅出来なそう

11

高齢者に対する対応

- ・ 在宅患者入院受入体制事業（宮城県病院協会）

目的	在宅療養者の夜間等の急変時対応体制を確保するため、急性期以外の医療機関を中心に、輪番による入院受入体制を構築し、在宅医療の推進及び急性期病院の負担軽減を図るもの。																
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所、関係医療機関及び介護施設等からの受入要請により、患者の診療を行う。 ■ そのため、当番日において、受入要請に対応できる医師などの人員と病床を確保する。 ■ また、医師が診察した結果、転送が必要な患者と判断した場合は、他の専門医療機関に転送する。 																
実施体制	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>輪番病院数</th> <th>医療圏ごとの内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平日昼間</td> <td>12 病院</td> <td>仙台5、大崎・栗原3、石巻・登米・気仙沼2、仙南2</td> </tr> <tr> <td>平日夜間</td> <td>9 病院</td> <td>仙台3、大崎・栗原2、石巻・登米・気仙沼2、仙南2</td> </tr> <tr> <td>休日昼間</td> <td>12 病院</td> <td>仙台5、大崎・栗原3、石巻・登米・気仙沼2、仙南2</td> </tr> <tr> <td>休日夜間</td> <td>9 病院</td> <td>仙台3、大崎・栗原2、石巻・登米・気仙沼2、仙南2</td> </tr> </tbody> </table>	区分	輪番病院数	医療圏ごとの内訳	平日昼間	12 病院	仙台5、大崎・栗原3、石巻・登米・気仙沼2、仙南2	平日夜間	9 病院	仙台3、大崎・栗原2、石巻・登米・気仙沼2、仙南2	休日昼間	12 病院	仙台5、大崎・栗原3、石巻・登米・気仙沼2、仙南2	休日夜間	9 病院	仙台3、大崎・栗原2、石巻・登米・気仙沼2、仙南2	
区分	輪番病院数	医療圏ごとの内訳															
平日昼間	12 病院	仙台5、大崎・栗原3、石巻・登米・気仙沼2、仙南2															
平日夜間	9 病院	仙台3、大崎・栗原2、石巻・登米・気仙沼2、仙南2															
休日昼間	12 病院	仙台5、大崎・栗原3、石巻・登米・気仙沼2、仙南2															
休日夜間	9 病院	仙台3、大崎・栗原2、石巻・登米・気仙沼2、仙南2															



- ・ ACPの推進
ACP ≠ DNAR

折角の制度を有効利用しませんか？

12

仙台市病院群当番制事業

① 事業の内容

本事業は、初期から三次に至る救急医療体制を円滑化することを目的に、休日・夜間において病棟当直体制とは別に医師等のスタッフを配置し、救急患者受け入れに対応する病院を当番制により確保するとともに、当直医師の診療科目や空きベッドの情報を共有する等により、救急告示制度を中心とした救急医療体制を補う事業。

② 当番病院(9 病院)

(ア)当番病院

当番時間:平日 18:00~翌 8:00 土・日曜日、祝休日 8:00~翌 8:00

・JR仙台病院 ・東北公済病院 ・仙台赤十字病院 ・伊藤病院 ・JCHO仙台病院
・中嶋病院 ・仙台オープン病院 ・仙台徳洲会病院 ・東北労災病院

※当番日以外の日は、協力病院として受け入れ

(イ)当番病院への補助金

補助金内訳:(平日単価×日数)+(休日単価×日数)

応需数に応じたインセンティブを

13

救急医

- ・ 救急医療 ≠ 救急医だけが行うもの
- ・ 病気、怪我、やけどや中毒などによる急病の方を**診療科**に関係なく**診療**し、特に重症な場合には**救命救急処置**、**集中治療**を行うことを専門とします。病気やけがの種類、治療の経過に応じて**適切な診療科と連携して診療**に当たります。更に救急医療のと技能を生かし、**救急医療制度**、**メディカル・コントロール体制**や**災害医療に指導的立場**を發揮します。

14

仙台市内の現役の救急医

病院名	常勤スタッフ数	うち救急科専門医数
東北大学病院	16人	14人
仙台市立病院	6人	4人
仙台医療センター	5人	2人
東北医科薬科大学病院	4人	4人
仙台オープン病院	1人	
東北労災病院	1人	1人
仙台徳洲会病院	1人	
合計	34人	25人

参考；救急医学会HP上の宮城県内の救急科専門医数；81名

15

救急医を増やす仕組み

- 行政（宮城県、仙台市）から救急医が必要であることの広報
- 救急医育成の資金
 - Off-the-Job-Training (JATEC, ACLS)などへの協賛
- 自治医科大学卒業生の進路として選択できるようにする
- 東北医科薬科大学卒業生の奨学金返済の優遇

16

救急の出口対策

- 夜間救急病院が救急医療として受け入れた患者で、専門的治療が不要な患者（誤嚥性肺炎、尿路感染症、脱水、栄養失調）を速やかに地域の病院で受け入れてくれる仕組みが必要
 - 大崎市民病院救急科の平均在院日数；4-5日
 - 仙台市立病院救急科の平均在院日数；15日

17

仙台南地域医療連携を考える会



医療機関、老健施設と協力し、後方支援（バックベッド）の確保に努めている 18